地内で遺構確認調査を行っているところであり、その進捗状況を見ながら進め、年度内には終了したい。

問　域学連携推進事業について。

答　まちづくりに関心を持つ大学と連携し、若い視点で調査研究を町民と共に行う。当町は、高崎商科大学と包括的連携協定をしている。今回、ドローンを活用した観光PRとして、観光プロモーション画像を作成するものの他、11月に地域連携シンポジウムを計画している。

問　林業事業推進対策の、森林組合が建設を中止した経緯について。

答　森林組合が、杉の木峠に作業用建物の建設と帯鋸盤（おびのこばん）の購入を予定していたが、地権者から土地の返還を求められ、製品の置く場所が見つからず断念した。

問　国や県の信頼問題となる。トンネル的な予算組みだけではなく厳しい目で対応してもらいたい。議会としても遺憾である。

問　体験交流センターの管理運営に関する限度額については協定書に謳っているのか。

答　協定書のなかで1年1500万円とし、初年度のみ月割りで112５万円としている。

問　生活環境保全でスズメバチ駆除のほか、ヤマヒル被害への対応はないのか。

答　現在ない。ヤマヒルについては森林組合にヤマヒル専用液があるそうだが、今後、県へ照会し情報収集を行うなど対応していきたい。

問　乳幼児対策の内容は。

答　不妊治療費助成要綱を改正し、助成金に充てたい。

◆平成26年度　下仁田町一般会計　歳入歳出決算認定について

歳入▼▼▼

問　新聞発表された伊勢山下の地価公示価格について、どのように決められるのか。

答　地価公示価格は、県が調査し公表するものだが、不動産鑑定士が、売買事例等により鑑定評価を行いその結果をもとに決定する。

問　町税延滞金について、当初予算149万円に対して、収入済額179万円余りであることについて。

答　見込んだ予算額より回収が進んだため。

問　年内にすべての回収が終わるのか。

答　本税から納税をお願いしている。年内にすべての回収は困難であるが、地道な回収に努めたい。

歳出▼▼▼

問　地域づくり支援事業補助金の支出先について。

答　旭町区七夕まつり、矢川区百庚申整備、緑ヶ丘区環境整備、上町区山車修理、下小坂区獅子舞保存に補助している。

問　多くの区に活用していただくように何にでも使える補助金としてはどうか。

答　補助金交付要綱により、町長と協議し検討したい。

問　中学生海外派遣事業の内容について。

答　オーストラリアのブリスベンに8月13日から8月20日までの間、生徒10名（募集12名中、応募者10名）、引率者3名で行った。生徒からは、自己負担金20万円をいただいた。支出額計は、574万円余で、引率者の経費は、出張手当3万円程、旅行費39万円である。

問　旧かぶら保育園解体工事と旧里見紙店跡地木塀設置工事の内容は。

答　今回の旧かぶら保育園解体工事は、本宿の長楽寺境内にあったもので、土地の所有者からの返還要請と本宿区の集会所として使用しなくなったことに伴うもの。跡地利用については、今後の検討となる。

また、旧里見紙店跡地木塀設置工事については、一昨年度建屋の解体をした結果、周りの住宅が丸見えになり、景観上もよくないので、木塀の設置をしたもの。現在は、観光客用駐車場として、看板を設置し利用している。

問　庁舎等管理費の駐車場用地賃借料について。

答　借地面積772．7坪で2名の方から年額175万円余で借りている。

問　駐車場用地について、職員の負担はあるのか。

答　現在ない。平成12年から19年まで、職員個人からの徴収ではなく、職員共済会から年間45万円支出をしてい

中学生海外派遣（ケアンズ・４マイルビーチ）